

辻堂駅周辺地域まちづくり会議ニュース

第9号 平成16年11月

発行：藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

● 辻堂駅周辺地区整備計画の課題の整理と取り組みの状況

第1回 辻堂駅周辺地区整備計画調整委員会の報告

- ・ 本年8月19日に第1回辻堂駅周辺地区整備計画調整委員会が開催され、本年3月以降の取り組みの経過及び辻堂駅周辺地区整備計画の課題について報告された後に、課題の解釈や対応などについて意見交換が行われました。

【現在までの課題の整理と取り組みの状況】

1. JR辻堂駅交通結節点機能の強化

- ・ 駅の南北を結び連絡デッキの拡幅、既存ホームの拡幅や貨物線を将来旅客化するための用地を確保するなどの様々な課題を解決するため、市と鉄道事業者等との協議が始まりました。

2. 南北道路・東西道路・駅北口駅前広場の整備

- ・ 駅北側と国道1号線を南北に結び新しい南北道路と藤沢羽鳥線をさらに西伸する東西道路の整備計画を具体化していくために、開発エリア外の地権者や自治会などと計画の具体化に向けた意見交換が始まりました。また、地権者の了解を得て、対象地付近の測量も始まりました。
- ・ 駅へのアクセス交通と通過交通を分離する道路計画や駅北口駅前広場の拡充、整備に向けた検討が始まりました。

3. 交通、歩行者ネットワークの整理

- ・ 開発エリアは南北約700mあり、歩行者を中心としたネットワークだけではなく、エリア内の交通システムや歩行者のたまり空間と歩行軸をうまく組み合わせていくための検討が始まりました。
- ・ 開発エリアと周辺地区、生活道路のネットワーク形成に向けた検討が始まりました。

4. 戦略的導入機能と土地利用

- ・ カントク跡地への研究開発施設や本社機能などの誘致を促進するために「企業立地促進条例（H16.10.1施行）」を制定し、固定資産税などの軽減措置を新たに創設しました。
- ・ 神奈川県産立地施策との連携を図るために「地域産業プロジェクト」に指定されました。
- ・ 市は本年7月から企業誘致を促進するためのプロジェクトを設置し、誘発力のある戦略的導入機能の誘致活動が本格的に始まりました。

5. 都市再生事業の課題

- ・ 辻堂駅周辺地区整備基本計画に基づいて、神奈川県と共に本年3月25日に、都市再生本部に対してカントク跡地を中心とした辻堂駅周辺地区（約30ha）を都市再生緊急整備地域に指定するよう申し出を行い、5月12日に正式に指定を受けました。

6. 茅ヶ崎市のまちづくりへの取り組み

- ・ 茅ヶ崎市でも、辻堂駅周辺地区整備基本計画と連携して、辻堂駅西口周辺地区のまちづくりのための基本計画を作成することを目的に「辻堂駅西口周辺地区まちづくり基本計画策定委員会」が、本年7月に設置され、検討が始まりました。

■辻堂駅周辺地区整備計画の課題の整理と取り組み状況の報告に基づく意見交換の概要

<企業誘致>

- ・企業誘致の機能導入について、情報はどこまで開示されるのか
- ・湘南新産業創出コンソーシアムを通じて、カントク跡地の中に産学連携機能の導入を働きかけている
- ・企業アンケートでは、すぐに立地に結びつく物件は出てきていない

<複合機能>

- ・にぎわいの創出には文化施設が必要
- ・市が文化施設を直接整備する考えはない
- ・文化的要素の拠点機能としてシンボルプログラムナードの具体的イメージを作るべきだ
- ・事業者にプロモートしてもらおうなどの協議が必要

<協働事業>

- ・事業主体はどこになるのか
- ・事業を協働で進める中で都市再生機構辺りが主体となるのではないのか
- ・多数の主体が係わるため、市がリーダーシップをとって欲しい

<まちづくり会議の役割>

- ・まちづくり会議はどのように提案できるのか
- ・平成15年度会の提言のフォローとチェック、また、まちづくりのルールへの提言も重要
- ・まちづくり会議は、計画推進の地域の旗振り役でもある
- ・まちづくり会議での提言のうち、最低限実現して欲しいことを整理し定量的に提言してはどうか

<基本計画に基づく事業計画>

- ・今年度中に事業計画が詰められるのか
- ・絵は描くのか、また、公開されるのか
- ・民間の土地の計画なので市が勝手に絵を描くわけにはいかない
- ・現在検討中なので、図面が出来ないことがわかった。もう少し整理された時点で図を提示して欲しい

<土地利用>

- ・将来的な茅ヶ崎市、寒川町との合併などを想定すると、ここが中心となる。広域連携の核として行政施設を立地させても良いのではないのか
- ・さいたま市の富士重工跡地は問題が多い（大型スーパー、高層マンション、行政）、参考として欲しい

<公園>

- ・現在神台公園は約8000㎡で都市計画決定。約2000㎡が公園として使用されている
- ・公園の交流・防災機能からこれを上回る規模を

<茅ヶ崎市との関係>

- ・藤沢市と茅ヶ崎市は、協議の場を設けているのか
- ・茅ヶ崎市も担当課をつくって対応している
- ・茅ヶ崎と藤沢で協議し、藤沢が窓口を一本化してJRRと対応して欲しい

<交通結節点機能強化>

- ・北口、南口駅前広場の規模はどう想定されているのか
- ・北口広場は現在約7000㎡で都市計画決定されているが、道路を除くと約5000㎡となる。これを倍増する位の規模を地権者と協議している
- ・南口広場は約4000㎡、広場に隣接する民間建物の建替等と連携して、公開空地等の確保により広場機能を充実させることを協議しながら進める
- ・JR駅機能を強化して欲しい
- ・周辺道路の整備。辻堂駅遠藤線の渋滞が心配
- ・通過交通と域内利用交通を分けて計画すべきだ

事務局

藤沢市役所 計画建築部 辻堂駅前都市再生担当
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL0466-50-3552 FAX 0466-29-1353
Eメール: tujitosi@city.fujisawa.kanagawa.jp

発行元：藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

辻堂駅前都市再生担当のホームページにもニュースを掲載しています。
※ お問い合わせは、電話、FAX、Eメールで事務局までお寄せください。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tujitosi/>